

「漲る」 (みなぎる)

おはようございます。

5月3日は、希望した285名が参加して東京スカイツリー第一展望台に行ってきました。あいにくの雨模様でしたが、雲の間からうっすらと見える地上350mからの景色や様々に工夫されたデザインなど、今までに感じたことのない新しい感覚と新たな発見があったのではないのでしょうか。

また、昨夜は、「ひかりのシンフォニー」と題して、スカイツリーに粋（隅田川の水をモチーフにした水色）と雅（江戸で育まれてきた美意識を象徴する江戸紫）が点灯され、さらには隅田川に「東京ホテル」と名付けられたLEDの青い光を放つ10万個の玉「いのり星」が輝き、たくさんの見物客で言問橋や吾妻橋の上に溢れかえりました。私も自家用車で通り過ぎただけなのですが、今までに見たことのない幻想的な景色でした。現在、日本国内ばかりでなく世界中から注目されている東京スカイツリーです。皆さんが住んでいる「すみだ」の郷土の発展も含め、見守っていきたいと思います。

さて、今日はこの「漲る」というこの言葉についてお話をしようと思います。先日、小説を読んでいたらこの言葉が出てきました。何と読むのかよくわからなかったので辞書で調べてみました。この字は、さんずいに張ると書いて「漲る(みなぎる)」と読みます。皆さんも字は見たことがなくても何となく聞いたことがあるのではないのでしょうか。意味は、①水がいっぱいになり、あふれるほど勢いが盛んになる。②力や感情があふれるばかりにいっぱいになる様子、と書かれていました。使い方は、「漲る若さ」とか「やる気漲る」というように使います。

先週から運動会の練習が始まりました。入学式にもお話しましたように、これから行われるすべての学校行事が向島中64年の集大成となります。たくさんの保護者や本校を卒業した先輩方や地域の方々も応援に駆け付けてくれると思います。短い練習期間ですが、一つひとつの競技や演技に真剣に一生懸命取り組んでほしいと思います。そして、皆さん一人ひとりの「漲る若さ」と「やる気漲る闘志」を持って、ますますの「向中の勢い」を見せてほしいと思います。期待しています。

以上で朝礼講話を終わります。